

事例 2-1-2 株式会社加藤製作所

「60歳以上限定の求人広告をきっかけに人手不足を解消し、シニア人材の活躍の場を広げている企業」

岐阜県中津川市の株式会社加藤製作所（従業員107名、資本金2,000万円）は、1888年に鍛冶屋として創業し、戦後からプレス板金加工に事業を展開した企業である。

2001年頃、顧客への対応力を向上させ、更なる収益確保を図るために、土日祭日も工場を稼働させることを同社は検討した。しかし、既存従業員では人手が足りず、新卒採用の拡大を図ったが、地域に若年者が少ないこともあり、人手不足となっていた。

その時、働く意欲はあるが働く場のないシニア人材が
多数いることを知り、同社の加藤景司社長（当時専務）
は、土日祭日だけの短時間勤務でシニア人材を活用する
ことを思い付いた。そして、「土曜・日曜は、わしらのウ
イークデイ。」、「意欲のある人求めます。男女問わず。た
だし年齢制限あり。60歳以上の方」というキャッチコピー
でシニア人材に限定した求人広告を打ったところ、大きな
反響があり、想定を上回る100名からの応募を得て、うち
15名を採用した。生き生きと働くシニア人材の活躍で、
既存従業員の負担を増やすことなく、工場の365日稼働と
いう目標をほぼ順調に実現した。

その後もシニア人材を継続的に採用し、今では従業員107名のうち、短時間勤務のシニア人材が54名と約半数を占めるまでとなった。取組開始から15年以上経って、シニア人材の活躍の場も広がっている。当初は土日祭日限定の勤務であったのが、現役世代の従業員から望まれて、平日も勤務するシニア人材も増えた。担当する業務も単純作業ばかりではなく、従来は若手や中堅の従業員が担当していた仕事でも、シニア人材に任せられるものはできるだけ任せていくというのが方針である。その分、若手には、将来のビジネスを考える仕事や開発業務、ランディング等の管理業務等を担当してもらっている。

また、同社では掲示物や作業指示書等の文字を大きくしてお
り、かつ写真やイラストを増やしてひと目で工程を理
解できるようにしている。加えて、シニア人材が操作し
やすい工作機械の導入も行うなど、働きやすい職場環境
づくりも進めている。

「シニア人材だからといって特別扱いしないことが、長続きの秘訣ではあるが、職場環境の整備や精神面でのフォローは必要である。それでも、シニア人材の活躍は、投資を上回る効果を上げている。」と、加藤社長は語る。



加藤景司社長



同社で働くシニア人材の姿



意欲のある人求めます。男女問わず。
未だ1年勤務経験あり。30歳以上の女性

- 勤務日：土曜日、日曜日、毎週（正月、お盆をのぞく）
 - 勤務時間：午前9時から午後5時までの間で、4時間以上働ける人
 - 待遇：BOOP付
 - 仕事内容：簡単な組立作業、NC機器搬入レーテーなど
（機械は全くございません）。現在バートの担当がござります。）

(株) 加藤製作所

〒508-0011 中津川市駒場447番地05 TEL.0573-65-4175 FAX.0573-65-4177 相当：加藤・春日井

土曜・日曜は、わしらのウイークディ